

科目名	作業療法評価学実習Ⅲ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23 回	時間数	45 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 2年 前期
【授業の目的・ねらい】 測定検査方法を学ぶ。 身体障害領域での各疾患において疾患特有の測定・検査や機能評価を学ぶ。							
【実務者経験】 ・作業療法士として順心リハビリテーション病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘等にて、身体障害領域及び老年期領域のリハビリテーションに従事。 ・作業療法士として順心リハビリテーション病院に勤務、身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 作業療法における測定検査方法を実践する。 疾患特有の測定・検査や機能評価を体験する。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 疾患の概要と、疾患特有の測定・検査や機能評価を挙げ、説明することができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	オリエンテーション、脳血管障害・頭部外傷の概略、脳血管障害・頭部外傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
2	脳血管障害・頭部外傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
3	脊髄損傷の概略、脊髄損傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
4	脊髄損傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
5	関節リウマチの概略、関節リウマチの作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
6	関節リウマチの作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
7	摂食・嚥下障害の概略、摂食嚥下障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
8	摂食嚥下障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
9	パーキンソン病の概略、パーキンソン病の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
10	パーキンソン病の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
11	内部障害の概略、内部障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
12	内部障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
13	末梢神経障害の概略、末梢神経障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
14	末梢神経障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）						教科書
15	OSCE 1 運動失調検査						教科書
16	OSCE 1 運動失調検査						教科書
17	OSCE 2 Brunnstrom Recovery Stage（上肢）①						教科書
18	OSCE 2 Brunnstrom Recovery Stage（上肢）②						教科書
19	OSCE 2 Brunnstrom Recovery Stage（上肢）③						教科書
20	OSCE 3 反射検査						教科書
21	OSCE 3 反射検査						教科書
22	OSCE 4 感覚検査						教科書
23	OSCE 4 感覚検査						教科書
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 作業療法評価学3版 能登真一（医学書院） PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版補訂版（金原出版）							
【準備学習・時間外学習】 当日授業の振り返りのため資料や教科書を確認する。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。							

試験は実技試験を50点、OSCEを50点として合計100点とする。  
60点以上の場合に科目を認定する。